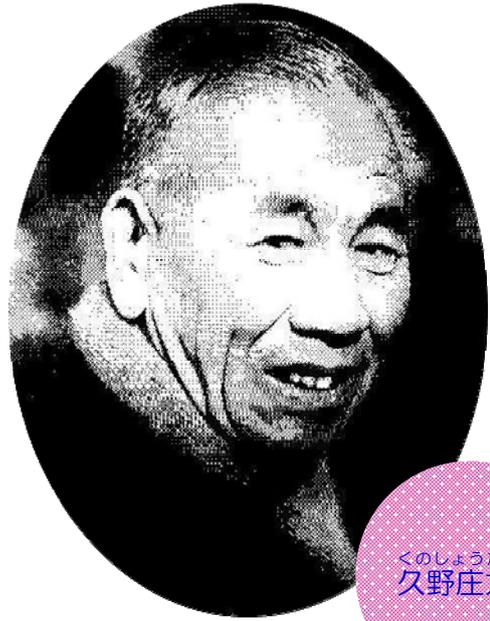


あ い ち よ う す い
愛 知 用 水

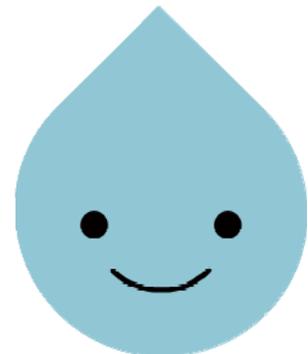


く の し ょ う た ろ う
久野庄太郎

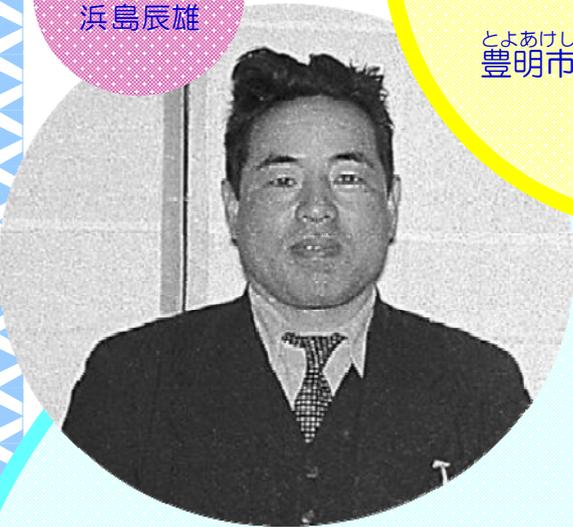
あ い ち よ う す い
愛知用水の生みの親の一人で
あるく の し ょ う た ろ う
久野庄太郎さん（1900
～1997年）は、ち た く ん や わ た む ら
知多郡八幡村
げん ち た し や わ た
（現知多市八幡）に生まれました。

1947年（昭和22年）は雨が大変少
なく、ため池の水が、すっかり無くなって
しまいました。田や畑へ引く水が足りなく
なり、いね か
稲が枯れて米のとれないところもあ
って、人々がたいへんこま
大変困りました。井戸から水
をくみ上げたり、川からふみぐるま ふ
踏車を踏んで田へ
水を引き入れたりしました。

水にこま ち た はんとう
困った知多半島の人々は、
『めいじようすい
明治用水のように用水路をつく
きそがわ
木曽川から水が引けたら……』と考え
ていました。たいかん
大干ばつをきっかけに、
く の
久野さんはこの夢をゆめ じつげん
実現させようと
思い、うんどう
運動を始めました。



若き日の
はましまたつお
浜島辰雄



あいちようすい
愛知用水のもう一人の生
はましまたつお
みの親である浜島辰雄さん
(1916~2013)は、
とよあけし
豊明市に生まれました。

はましま
浜島さんは、くの
久野さんの運動
を新聞で知り、くの
久野さんを訪ね、
あいちようすい
愛知用水についてあつ
かた
熱く語り合
いました、そしてあいちようすい
じつげん
愛知用水の実現
に力を合わせて運動していくこ
とをかた
やくそく
を固く約束しました。

二人は、ほんとうにき
そがわ
木曾川からち
たはんとう
知多半島の先まで水が
引けるのか、調べました。用水の実現には大変なお金がかかるとはわかりました。そこで、土地の様子を調べて計画した用水路を用紙に書いて、ち
たはんとう
知多半島の市や町に
せつめい
説明して歩きました。ち
たはんとう
知多半島の人々は、この計画をり
かい
解し、みんなで運動をもちあげました。

くの
久野さんは、ようすい
じつげん
用水の実現のため
に大変くろう
苦勞をされました。自分
のお金を使い運動をしましたので、お金をたくさん使い、なくな
ってしまった時もありました。

このような運動によってじつげん
実現
したあいちようすい
愛知用水は、2011年に
つうすい
通水を始めてから50周年を
むかえ、このちほう
地方になくってはな
らない用水となっています。